

「愛知工業大学研究報告」投稿規程

1. 投稿資格

著者のうち少なくとも1名は、発行年度に本学に在籍または在籍期間が含まれる本学教職員（非常勤を含む）であること。

2. 投稿内容

- 1) 論文は「愛知工業大学研究倫理指針」を遵守したものでなければならない。
- 2) 論文は他誌等に未掲載のものでなければならない。なお、他で審査中あるいは掲載予定になっているものも投稿を認めない。
- 3) 論文の種別は イ. 査読付き論文、ロ. 査読なし論文、ハ. ノート（速報的なもの）、とし、公開時には種別がわかるように掲載する。

3. 原稿提出

- 1) 投稿者は原稿の透明テキスト付PDFファイル、Wordファイル、A4判（上質紙）にプリントアウトしたものを、投稿票と共に各学科等紀要委員を通じて紀要委員会に提出する。投稿者は原稿の控えを手元に保存する。
- 2) 投稿者は、査読を希望する場合、希望しない場合ともに定められた提出締切を遵守する。
- 3) 投稿規程によらない論文原稿は受理しない。なお、論文の内容については、著者の責任において投稿するものとする。

4. 査読付き論文及び査読なし論文採否の連絡

- 1) 論文採否については紀要委員会の審議を経て、紀要委員会事務局から投稿者へ連絡する。

5. 原稿作成要領

1) 書式について

別添「愛知工業大学紀要原稿の書き方」に従い、A4判に原則として横書き、2段組に仕上げる。但し、学問分野の特殊性により、横2段にわたり1行書きとなるもの、或いは縦書きの原稿も認める。手書き原稿は認めない。

文字サイズ、間隔等は次のように設定する。

日本語原稿

文字種：明朝体

フォントサイズ：9ポイント。但し、表題は15ポイント、著者名は10ポイントとする

片段の文字数：25字

行数：50行(Running Headerを含む)

上端マージン：16mm(Running Header までのマージン)

下端マージン：21mm

左右マージン：それぞれ20mm

段間隔：10mmまたは3文字分とする

欧文原稿

文字種：Times New Roman

フォントサイズ：10ポイント。但し、表題は12ポイント、著者名は10.5ポイントとする

その他マージン、行数等については日本語原稿の寸法に準ずる

以上の設定が困難な場合には可能な限り上記に近い値に設定する。

2) 論文の長さについて

イ. 査読付き論文、査読なし論文

図・表・写真等、参考文献を含めて12ページ以内とする。

ロ. ノート

図・表・写真等、参考文献を含めて4ページ以内とする。

以上のページ数を超える場合は、紀要委員長の承認を得る。

3) 節、小節について

節、小節などの書式は図1の例による。節は左詰めとし、番号はアラビア数字のゴシック体とピリオド（下付き）に続けて表題とし、小節の見出しは中ボツ入りアラビア数字のゴシック体とし、行の第2字目から書き始める。

なお、細節も小節の書き方に準ずる。

| ←第1欄
2. 実験結果と考察 ←ゴシック
|
□ 2・1 □ 実験結果 ←ゴシック
|
□ 2・1・1 □ 速度効果 ←ゴシック
|

図1 節・小節・細節の書式例

4) 図・表・写真について

イ. 図・表・写真の作成要領

図・表・写真は判読困難なものとならないように作成する。特に図と表は十分大きなフォントを使って作成する。

ロ. 図・表・写真の題および説明

図・写真の題および説明は、図・写真の下に記入する。表の題および説明は、表の上に記入する。

5) 参考文献について

イ. 文献は原則として引用順とし、論文の末尾に一括する。文中の引用文献には末尾の文献番号に片括弧を付けて右肩に記す。

例. 田中²⁾によれば……………。

脚注は論文内容の補足説明が必要な場合に限る。

ロ. 文献の示し方はおよそ次のようにする。

a) 定期刊行物（雑誌等）の場合

著者名，論文名，刊行物名，巻数（号数），参照ページ，発行年の順

例1. 八草一郎，愛知太郎：地盤沈下における諸問題，施工技術，5(2)，23-28，1971.

例2. E.McBean and W.Lennox, "Effect of survey size on student ratings of teaching," High. Educ., Vol. 14, No. 2, pp. 117-125, Apr. 1985.

注： 原則として刊行物名の略称はそれぞれに決められているものを用い、号数は通巻頁のある場合は記さなくてよい。発行年は西暦を用いる。

b) 単行本の場合

著者名，書籍名，参照ページ，出版社名，出版社所在地，出版年の順

例1. 木村一夫，中田正夫他：環境工学，p. 115，朝倉書店，東京，1976.

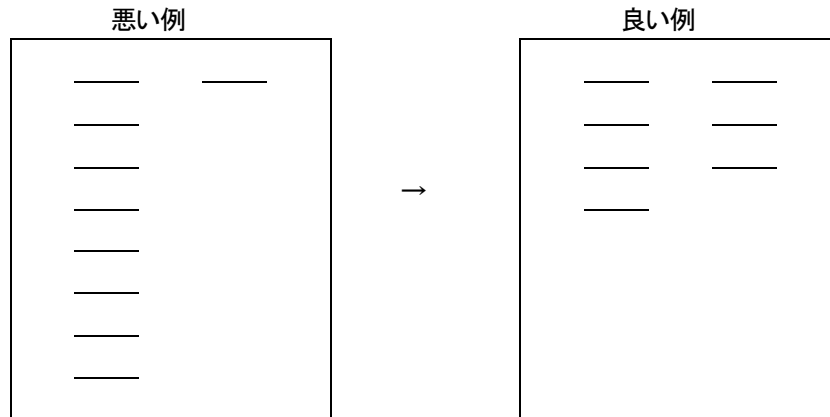
例2. J. Neter, W. Wasserman and M. Kutner: Applied linear statistical models: regression analysis of variance and experimental designs, 2nd ed., p. 847, Homewood, IL: Irwin, 1985.

6) 謝辞について

研究費の助成を受けた論文は、本文の末尾にその旨を明示する。

7) 論文の最終ページについて

イ. 左右の記載にバランスをもたせる。



ロ. 最終ページ右欄の最終行には、受理日を記載する。受理日は論文採否の最終決定を行う紀要委員会開催日とする。

6. 原稿の提出締切

- 1) 査読希望原稿の各学科等紀要委員への提出締切は、毎年12月19日正午とする。但し、その日が大学の休業日もしくは土曜日の場合は、前日の同時刻とする。
- 2) 査読を希望しない原稿の学科等紀要委員への提出締切は、毎年3月10日正午とする。但しその日が大学の休業日もしくは土曜日の場合は、前日の同時刻とする。
- 3) 毎年原則として3月20日に紀要委員会を開催し、各学科等紀要委員は、原稿をとりまとめ「学科等別原稿集計票」と共に提出する。

7. 著作権の帰属

採録された論文の著作権は愛知工業大学に帰属する。

8. 論文の公開

採録された論文は、「愛知工業大学学術情報リポジトリ」に公開する。

附則

この規程は、第45号(2010年版)から適用する。
この規程は、第50号(2015年版)から適用する。
この規程は、第51号(2016年版)から適用する。
この規程は、第52号(2017年版)から適用する。
この規程は、第55号(2020年版)から適用する。
この規程は、第56号(2021年版)から適用する。
この規程は、第57号(2022年版)から適用する。
この規程は、第58号(2023年版)から適用する。